

Title	手ノ器用ト其脩養
Author(s)	財部, 靜治
Citation	經濟論叢 (1916), 3(3): 451-456
Issue Date	1916-09-01
URL	<a href="http://dx.doi.org/10.14989/127075">http://dx.doi.org/10.14989/127075</a>
Right	
Type	Departmental Bulletin Paper
Textversion	publisher

京都市帝國大學法學科大學

# 經濟論叢

第三號

第三卷

## 論說

聯合國經濟同盟ニ對スル我國ノ態度

法學博士 戸田海市

國防稅ノ當否(一)

法學博士 神戸正雄

でがめつじ・ひゆーむノ經濟學說(五)

法學博士 福田徳三

『座』ノ研究(二)

文學博士 三浦周行

兌換券ト物價ト輸出入ノ關係ヲ論ズ

法學博士 小川郷太郎

資本ノ眞概念ノ發展(三、完)

法學博士 河上肇

## 雜錄

小野塚牧野兩博士ノ新著

法學博士 福田徳三

不換紙幣流通ノ根據ニ就テ 福田博士ヲ答フ

法學博士 戸田海市

ひゆつひあーノ經濟發達階段說ハ其獨創ニ非ズ

法學博士 神戸正雄

最低賃金ノ制度ニ就キテ

山本美越乃

日英ノ物價

法學士 河田嗣郎

手ノ器用ト其脩養

法學士 財部靜治

『通俗經濟文庫』卷一ヲ讀ミテ

法學博士 河上肇

『瀧本誠一氏ノ草莽危言摘義解題ニ就テ』ノ補遺

鈴木券太郎

大正五年九月一日發行

(載 轉 禁)

# 手ノ器用ト其脩養

財部 靜 治

一、各種實業教育ニ於テ手ノ器用ヲ修養スルノ要アルヤ謂フ迄モナシ而モ子輩ヲ掲ケテ一言セント欲スルハ之カタメタラス現在義務教育トシテ國民全般ニ課セラルル尋常小學教育ノ教科目中國畫、手工、女子ニアリテハ裁縫ヲ入レ學年ニヨリ課不課ノ相違アリ又一ハ必俯トシ一ハ之カ取捨ノ餘地ヲ存スルノ相違ハアリ乍ラ免ニ角之ヲ認メ手ノ器用ヲ修養スルヲ以テ國民教育ノ一條件タラシムルニ係ラス之カ修養ノ必要果シテ國民全般否有識者ニヨリ誤解セラルルコトナキヤ疑フノ機會多クレハナリ乃チ其一事例トシテ本年五月京都日出新聞紙上ニ連載サレシ有益ノ記事「小學校廻リ」中第一ニ「生徒ノ父兄ノ階級ト職業ノ種別多ク」華族、大學教授乃至下層勞動者ニ至ル階級ヲ網羅セル學區内女生收容學校トシテ紹介サレシ第二錦林小學校ニ關スル記事申左ノ一節アリ

父兄ノ「多數ハ教師ダトカ會社銀行員ダトカノ

雜錄 手ノ器用ト其脩養

智識階級ノモノデアルカラ學校ヘノ注文ハナカナカ多種アル」圖畫ヤ手工ヤ裁縫ノ如キ技藝ヲ云々セス、ソシテ末技ハ免ニ角トシテ人物養成本位デ教育シテ貰ヒタイトイフ」

ト、子輩ハ素ヨリ前記ノ諸教科目特ニ「教育社會デハ能ク了解サレテ居ル」トセラレ其教授法モ「所々ニ於テ特ニ注意シテ研究セラレテ居ル」トセラルル本邦手工尋常小學教育ノ進歩セル現況ニハ不幸ニシテ未ダ通セス從ヒテ如何ナル方針、如何ナル設備及教案ノ下ニ課セラレツツアルヤナ知ラス素ヨリ又之ヲ評論スルノ自信チ有セスト雖モ由來「遅レタ考」ヲ持シ古ノ名君賢相ニシテ天下ヲ宰理スルノ餘暇茶碗ヲ燒キ名劍ヲ鍛ヒテ其妙技ニヨリ名工ヲ驚カセルカ如キ人品チ敬重スルノ思想ヲ養ヘル身トシテハ聊カ是等教科目ノ精神ト信セラルヘキモノヲ釋木他日精研ニ就クノ端緒ニ供スルノ念ナキ能ハス。

二、歐洲ニ於テ小學教育ノ一部トシテ手ノ器用修養ヲ認メ道具ノ用法ヲ授ケテ手ノ技巧ヲ暢達セシメントスルノ思想ハ夙ニ宗教改革時代ニ其萌芽ヲ養ヘリ乃チ宗教改革家ハ制慾主義及冥想ノ生涯ニ反對シ生存ノ實際的方面ニ重キヲオキタリ詳言スレハ手仕事ヲ尊重スルコトトナリ從ヒテ父手ノ器用ヲ重ンスルコトトナレリる。一、こめにちす、ろつく、るーそー、べすたる

第三卷 (第三號四五二) 一四九

イ) 澤柳政太郎氏著「我國ノ教育」一六六、一六七頁參照

つちノ教育思想ニアリテハ何レカノ形式ニヨリ之ヲ推稱シタリ爾後ノ諸帝王、公卿ニシテ特殊産業ヲ弄ヒ人ニヨリ其事業ニ精通ストセララル者アルニ至レルハ惟フニ其思潮ニ左右セラレタルモノタリ次イテ獨逸ノ林境ちゆーりんげんニ人ト成リ幼ニシテ動植金石ノ自然物ニ親シミ夙ニ萬有真理ヲ感得シ教育學大家ノ名ヲ殘スニ至レルふるゆーべるハ必ずたるつちト共ニ眞ノ教育家ハ兒女ニ就キ何モノヲモ創造スルコトナシ須ラク其天賦ノ諸能力ヲ暢達セシムルノ指針タルヘシト確信シ子ノ成育ハ植物ノ生茂スルカ如シ。完全教育ハ自我ノ完成ニアリトシ更ニ歩ヲ進メ教育ノ本分ハ自發任意ノ活動ヲ促スコトニヨリ子弟ノ諸能力ヲ開發セシムルニアリトシ此意味ニ於テ一八二六年ニ公刊セル大著「人ノ教育」中初メテ教育ノ一部トシテノ手技ヲ論シタリトイフ實際上幼稚園以上ノ學童女ニ對シ手ノ器用ヲ訓練スルノ制ハ初メテ芬蘭ニ起リ次イテ一八七六年瑞典ニ採用セララルコトトナリテヨリ各國ニ波及シ現今瑞典并ニ米國ニ於テ尤モ

普及ストセラレ其一端トシテ幼少者ニ農具ノ使用ヲ訓ユヘキ學校園ノ制度モ各國ニ昌ンナリ  
 (本邦學校園ノ施設ハ田舎ニ多キモ都市ニアリテハ振ハサルモノノ如シ市内ニ農園ニ利用スルノ土地ヲ得ス必要ノ經費不足セルコト惟フニ重大ノ障礙ヲナセルモノナルヘキモ右施設ノ眞意ハ寧ロ大都市ニ發揮シ得ヘキナ以テ須ラク右障礙ヲ排除シテ之ヲ諸大都市ニ普及セシムヘシトハ予輩ノ確信スル所異日詳論ノ機會ヲ得ント欲ス)

三、世ニハ小學校生徒ヲシテ手ノ器用ヲ修養セシメ五學年六學年級ノ生徒ヲシテ圖案意匠ヲ考案セシメ其嶄新ナルハ之ヲ繪葉書トシ或ハ商人カ之ヲ手拭模樣ニ利用スルヲ是認シ主トシテ本修養ニヨル目前ノ實利實益ヲ重ンスルカ如キコトナシトセサルモ由來此教育ヲ主張スル者ノ着眼ハサ程卑近ナラス乃チ其唱導者ハ一般教育ニ併セテ之ヲ授クルカタメニ多クノ時ヲ費サスシテ割合ニ有利ノ結果ヲ收メ得ヘシトシ生徒ヲシテ仕事ニ働カシムルカタメニ其手仕事ニヨリ其精神的諸能力ヲ活躍セシメ鋭敏ナラシムヘシ物理的力學的作用ヲ伴フ手工ノ訓練ニヨリ割合ニ敏速ニ數理ヲ理解セシメ得ヘキカ如キハ其一端

ナリト説ク從テ又相當ノ時ヲ割イテ手ノ器用ヲ養フモ書物ニ通セシムルノ目的上損スル所ナキノミナラス學習セラルル分量ヨリスルモ其了解ヨリスルモ寧ろ積極的ノ利益アリト唱ヘ兼テ又美術の鑑賞及創作ノ才ヲ養成スルノ得アリトナス現ニ學者中ニハ此教育ヲ以テ國民の美術工藝ヲ維持シ鼓舞スルニ益アリ替レ行ク手技ヲ復興スルノ功アルヘシト説ク者アリ。素ヨリ前記ノ主旨ニ對シテハ意見トシテ反對ナキニ非スト雖モ之ヲ肯定セシムヘキ實證的報告ニ存セサルニ非ス乃チ一八九二年米國勞働省刊公特別調査委員報告書ノ報告トシテ傳ヘラルル所ニヨルニ英米教育家ノ經驗ヲ本トシ手仕事ヲナシタル者ト然ラサル者トニヨリ遂ケラレタル學業ノ量及質ニ關スル舉證ヲ集メ其結果通常授業時間内ニ其課業ノ一部トシテ手工訓練ヲ受ケタル生徒ハ等數時間ヲ此課目ヲ伴ハサル課業ニ費ヤセル生徒ト同シ丈ケノ學業ヲ仕遂ケ而モ亦手工ニ費ヤセル時多キニ從ヒテ其結果有益ナルコト愈著シトハ普通ノ説タルヲ發見シ就中教育家ニヨリテ

雜錄 手ノ器用ト其培養

ハ遂ケラレタル學業ノ量又ハ質ニ何等ノ減損ヲ注目セシメスト言フコト以上ニ其利益ヲ擧ケ得サル者幾分カ存セシモ其大多數ハ手仕事ヲ増課セルカタメニ學業成績モ多大ニシテ又良好ナリキト報告シタリト言フ。

四、小學校ニ於ケル手ノ器用修養問題ノ輕重ハ素ヨリ其國文化ノ程度教育思想産業發達ノ如何ニヨリ相違ナキヲ得ス文教ノ制整頓セルヲ以テ名アル獨逸ニ於テ此問題由來大ニ重ンセラルトナシ兼スルニ英米ニテハ却リテ振ヘルノ觀アルハ之ニヨリ説明シ得ヘキモノノ如シ獨逸ニ於テ手工訓練小學男生ノタメニハ寧ろ看過セラルルノ狀ナシトセサルハ體育并ニ軍隊訓練ニヨリ普通ニ手ノ器用及敏活ヲ養ヒ得ヘシトシ又一ツニハ各種專業學校(實業學校トイフモ差支エナカルヘキモ英語Trade Schoolニ當ル學校ハ一業少クトモ之ト關係アル數業專門ニ一校ナルコト時計製造ニ時計學校、理髮業ニ理髮學校トイフカ如クナルヲ其精神トス從ヒテ其實ヲ明カナラシメンカタメニ假リニ此語ヲ用ウ)整頓完備シ是等ノ學校ニ於テ必要ナル特殊熟練ヲ養ヒ得ヘント考フルカタ

第三卷 (第三號四五三) 一五一

2) Vgl. Fuchs, Ländliche Wohlfahrtspflege, Arbeiterfrage und Kolonisation. Handbuch der Politik, II. S. 290.

メナルヘシ、然ルニ英米一部ノ學者間ニ行ハルル見解ニコレハ敢爲又不屈不撓ノ精力并ニ機械及仕事ノ方法ニ於ケル煩雜ヲ斥ケ冗費ヲ節ズルニ勉ムルカ如キ實際的本能ハ最良ノ青年期ヲ仕事場ニ送ルニ非スンハ昌ンニ之ヲ延ハシ得サルヘシ西歐諸國カ英國ヲ凌ケル如キ學問修養素ヨリ儻リ得サルヘシト雖モ一青年カ經營宜シキヲ得タル仕事場ニテ直接經驗ニヨリ自ラ脩得スルモノ何タルカハ兎モ角之ニヨリ彼ヲ教ヘ其精神の活躍ヲ鼓舞スルハ模範工具ヲ備フル一實業學校ニテ一親方ニヨリ教ヘラルルニ比シテ勝レリト説クカレ自力ニヨリ知識ヲ自得セル若者ハカクスルコトニヨリ自ラ學ヘリト高唱シ其反對ニ特殊事業ニ必要ナル特殊熟練及機械并ニ仕事ノ方法ニ關スル初步知識ヲ授クヘキ低度實業學校ハ其方針如何ニヨリ卒業生ヲシテ其卒業當初ニ利セシムヘキモ爾後其諸能力ヲ暢達セシムルコトナク寧ロ之カ啓發ヲ阻碍スルノ弊アルヘシトシ從ヒテカノ在學中遂ケ得タル智能進歩ソレ自身ノタメニ重ンスヘキヨリモ寧ロ其教育ノ賜ト

シテ未來進歩ヲ遂クルノ力ヲ養フガタメニ重ンスヘキ小學教育ニ於テ隨時萬事萬業ニ適應シ得ヘキ諸能力ヲ養ハシムルヲ主眼トスヘク其教育ノ一部トシテ手扶ヲ課シ一般ニ指ノ使用上器用ナルノ能力ヲ脩養シ手及目ノ動融自在ニシテ行ク所可ナラサルナキノ器ヲ養成セントス特ニ一組ノ諸作業ニ就キ永年ノ實習ヲ要スヘキ手工業替タレ機械ハ益々是等手ノ特殊熟練ヲ要スル仕事ニ代リツツアル時代ニアリテハ右ノ必要大ナリト説ク、素ヨリ保守的ナル英ニアリテモ特ニ近年ニ至リ專業教育振張論者アリト雖モ仕事ハ重ンスヘク萬人ハ勞動スヘキコトヲ信條トシ手扶ハ何人ニモ訓養サルヘキモノナリト主張シ專業學校ハ普通職工ニ勝レリト自負スヘキ道樂的職人 *Dilettante Workmen* ヲ養成スヘク之ヲ以テ良工ヲ生ムノ場所ナリト信セサル者渺カラス特ニ知識アル勞動者ハ此説ヲ奉スルコト多キモ其裡面ニハ團結シテ同業人員ヲ整理制限シ競争者ヲ渺カラシメントスルノ精神ニ驅ラレ多數ノ專業學校卒業者ヨリ受クル競争ヲ厭フコト其動

機トナレルノ事情モ存スト傳ヘラル。

五、本邦今ヤ諸教育制度特ニ實業教育ノ制度社會ノ各方面ニヨリ注目セラレツツアリ惟フニ獨逸ニ於ケルカ如ク諸種諸程度ノ實業學校普及シ又其實績ヲ擧ケ「學ヘル勞働者」産業界ニ充テテ無學ノ勞働者ナキヲ期スルハ産業振興ノタメ重大ノ意義アルヘクカノくれふにるごノ實驗室ニテ養成サレシ染物業者カ諸色素ニ關スル化學ニ精通シ織物ノ組成物ニ關スル知識ヲ本トシ其一定「ヤト」ヲ一定ノ色ニ染ムルノ經費ヲ一片ノ小額ニ至ル迄精密ニ見積ルコトヲ解ストセララルカ如クナルハ眞ニ望マシキコトナリト雖モ其外又人格ノ養成ヲ夙ニ幼少ノ間ニ遂ケシメ世ニ出シテ「熟練勞働者」タラシメントスル英米ノ長所ヲ汲ムノ餘裕ヲ養フハ有益ナリ此意味ニ於テ小學校ニ於ケル手ノ器用修養ニツキ期待スヘキモノ尠キニ非ス特ニ其精神タル自發活動ノ能力養成ノ目的ヲ貫クハ然リ手工科擴張セラレカノしかじ、せんと・るいす、ふいらでるふいあ等ニ於ケルカ如ク單純ナル手工道具以上ニ木工業金

屬工業用ノ機械ヲ備ヘ諸材料ノ強弱ヲ驗メスヘキ大機械裝置ヲナスカ如キ學校起ランコト忌ムヘキニ非ルト共ニ機械ノ使用上未タ大進歩ヲ遂ケス由來美術的雅趣ニ富メル手工業多ク又夫婦ノ務トシテ家族ノ衣服ヲ仕立テ縫ヒ直スノ風替レサル我國ニ於テハ之カ教養上工夫ヲ要スルモノ多キヲ感セスンハ非ス。予輩獨逸遊學中好ミテ諸商店ニツキ商品ヲ素見ス爾テ金物商店ニツキ學用大工道具一組ヲ觀覽シ一旦購入ノ念ヲ發セリト雖モ其諸道具ノ整備ニヨリ寧ロ專業者ノ使用ニ適ストノ感ヲ起サシメタルト其値段高カリシヨリ初念ヲ果ササリシカ英京ニ遊フニ及ヒ商店ニ陳列サル學童用 Tool Set 收ムル道具ノ種類ハ多シトセサルモ如何ニモ重寶ト想ハレシ儘同京ニテハ一片ダニ惜シク思ハレシ留學費ヲ割キ約八志ヲ投シテ其一種ヲ購ヒ來レリ歸來隨時之ヲ使用シ大ニ慰ム間ニハ其昔竹ヲ削リテ鳥籠ヲ造リ附近ノ小河ヲ浚ヒ鰻鱺ヲ漁リ自ラ之ヲ割キ自ラ之ヲ焼イテ食ヒシ事ヲ想起シ明治ノ學童ハ果シテ遲レタ考ヲ養ヒ大正學童ハ果シテ

雜錄 『通俗經濟文庫』卷一ヲ讀ミテ

進ンタ考ヲ養ハレツツアルヤ少シク訝ルコトナ  
キニシモ非ス。若シ夫レ手工教育ノ課程範圍經  
費支辨法等ニ至リテハ別ニ詳論ノ機會アルヘク  
圖書科裁縫科ノ特別評論ニツキテモ亦然リ。